刑務所を通して社会を見る

私が世界の刑務所に入る理由

令和8年

12月4日(金)18:00～20:00

約118年間続いた懲役刑と禁錮刑は廃止され、2025年6月1日から新たに拘禁刑が科されることとなった。刑罰のあり方が世界中で変化する中で、日本は今後どのように向き合っていくべきか。国内外の刑務所に出入りをしている報告者はなぜ刑務所を調査するのか。刑務所を通して見た社会にどのような問題があるのか。参加者の皆さんと一緒に議論するための話題提供を行う。

会場

鹿児島大学郡元キャンパス
法文学部棟2号館3階 大会議室

――――

オンライン(Zoom)

講師

丸山 泰弘　教授(立正大学法学部法学科)

対象

弁護士、裁判官、検察官、その他法律専門職、研究者、学生(3年生以上)
※上記以外の、一般の方もご参加いただけます。

申込締切

12月1日(火)正午

下記リンクまたはQRコードからお申し込みください。
https://forms.gle/YntEVcPHfsyTJWfRA

丸山先生がご登壇されるシンポジウムのご案内です



日本で一番「死刑」の話をする日2026
2026年12月8日(火)18:00～20:00
主催は日弁連です。お申し込みはこちら▽
https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/26shikeihaishi/1208/

【主催】　鹿児島大学法文学部附属司法政策教育研究センター
【問い合わせ】　鹿児島大学法文学部附属司法政策教育研究センターtel.099-285-3905/7569